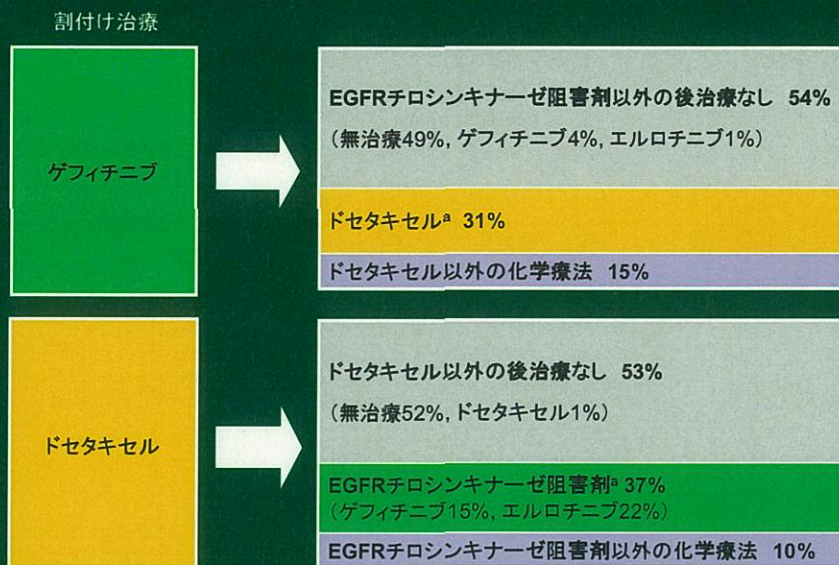


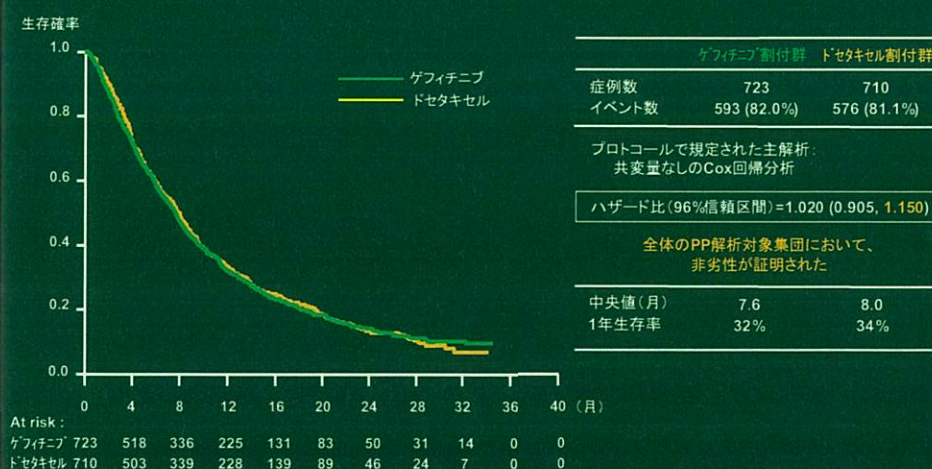
後治療の内訳 (ITT)



^a さらに他の化学療法やエルロチニブによる後治療も受けている患者を含む。
ただし、放射線療法、手術、医療処置、その他の治療は除く。

45

全体における全生存期間 (PP)



・プロトコルで規定された非劣性を示すためのハザード比の上限(ドセタキセルの効果の50%以上をゲフィチニブが有することに相当する[Rothmann,2003]) = 1.154

・この結果は、過去のTAX317試験で得られたBSCに対するドセタキセルの優越性の96%をゲフィチニブが有することに相当する(96%信頼区間 52%-129%)。ゲフィチニブとBSCの間接的な比較 ハザード比(96%信頼区間)=0.63 (0.42, 0.92), p=0.0137

46